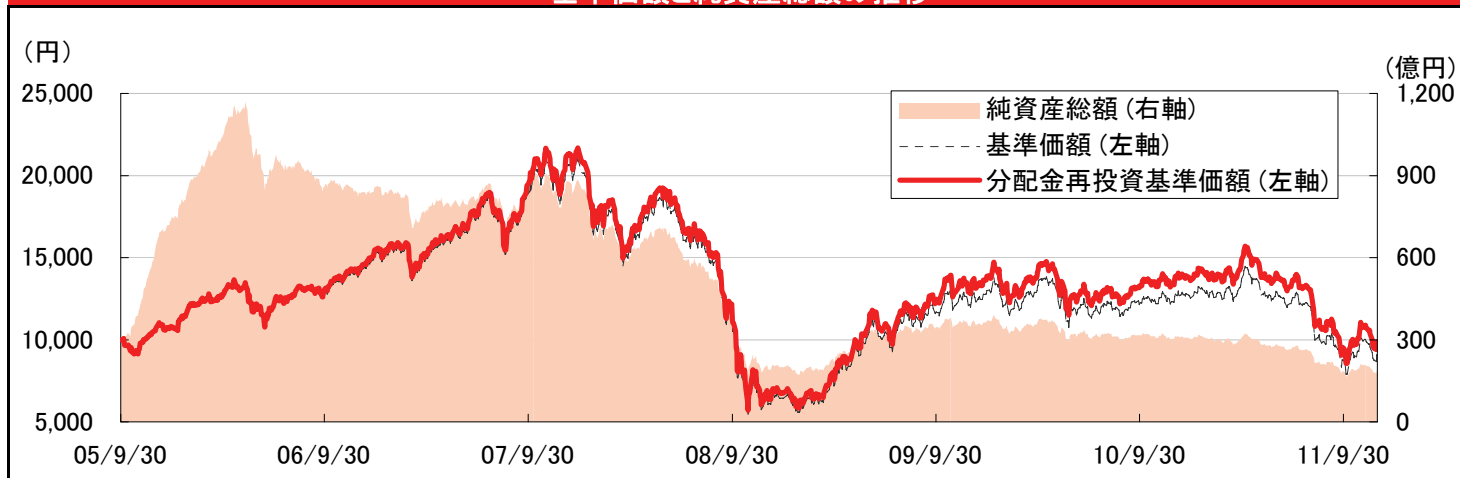


HSBC BRICs オープン

追加型投信/海外/株式

基準価額と純資産総額の推移



* 基準価額は信託報酬(税込年1.365%)控除後のものです。分配金込基準価額は税引前分配金を再投資したものです。将来の分配金は、運用状況によって変化します。

商品概要

商品分類	追加型投信/海外/株式
設定日	2005年9月30日
信託期間	無期限
決算日	原則、9月29日/年1回決算

基準価額等(2011年11月30日現在)

1万口当たり基準価額(円)	9,102
設定来高値(2007年12月28日)	21,018
設定来安値(2008年10月28日)	5,441
純資産総額(億円)	187.3

* 基準価額は信託報酬控除後のものです。

税引前分配金の推移(1万口当たり)

決算期	分配金(円)
第1期(06年9月29日)	200
第2期(07年10月1日)	300
第3期(08年9月29日)	200
第4期(09年9月29日)	200
第5期(10年9月29日)	200
第6期(11年9月29日)	0
設定来累計	1,100

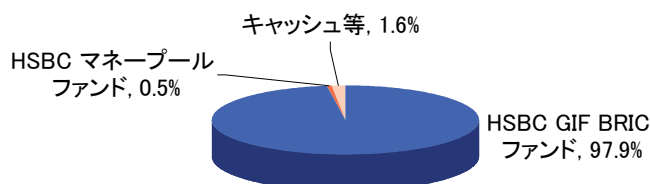
* 将来の分配金は運用状況によって変化します。分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

期間別騰落率(税引前)

1ヶ月	-10.7%
3ヶ月	-10.8%
6ヶ月	-28.0%
12ヶ月	-26.0%
36ヶ月	48.3%
設定来	-1.2%

* 基準価額の騰落率は税引前分配金を再投資したものとして計算しています。

信託財産の構成



*表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

設定・運用:HSBC投信株式会社

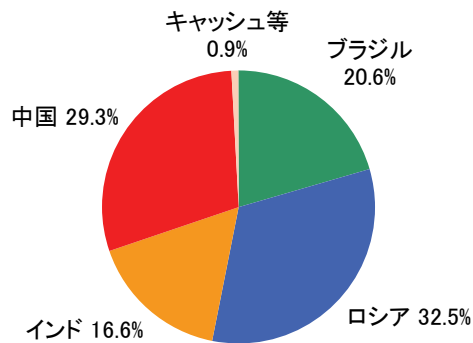
投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC BRICs オープン

追加型投信/海外/株式

HSBC GIF BRIC ファンドの状況 (2011年11月30日現在)

国別投資配分



* 国別投資配分は派生商品による投資も含まれます。

業種別組入比率

業種	比率
石油・ガス	30.7%
金融	30.1%
素材	12.3%
消費財	8.3%
通信サービス	6.4%
資本財	5.1%
公益	2.2%
テクノロジー	2.2%
消費者サービス	1.1%
その他	0.6%
-	-
キャッシュ等	0.9%
合計	100.0%

*表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

組入上位銘柄と対純資産組入比率

順位	銘柄名	国名	セクター	比率
1	ガスプロム	ロシア	石油・ガス精製	5.3%
2	ズベルバンク	ロシア	銀行	4.9%
3	ルクオイル ADR	ロシア	石油・ガス精製	4.8%
4	ガスプロム ADR	ロシア	石油・ガス精製	4.2%
5	中国移動	中国	移動体通信	4.1%
6	中国工商銀行	中国	銀行	3.5%
7	ロスネフチ GDR	ロシア	石油・ガス精製	2.8%
8	ケアン・エナジー	インド	石油・ガス精製	2.5%
9	中国建設銀行	中国	銀行	2.3%
10	マルチ・スズキ	インド	自動車・部品	2.2%
組入銘柄数				120

* 銘柄名は、情報サービス業者の表記を参考にHSBC投信が翻訳したものであり、発行体の公式な和文名称と異なる場合があります。

* 優先株・普通株など、またそれらのADR・GDRは各々別銘柄として表記しています。なお、原則として優先株をPN、ユニット株をUNIT、新株予約権付証券・エクイティリンク証券をELNと注記しています。

* セクター・業種分類はインダストリー・クラシフィケーション・ベンチマーク(ICB)を参考にしています。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC BRICs オープン

追加型投信/海外/株式

主要株価指数の騰落率(前月比)

ブラジル ボベスパ指数	-2.5%	インド SENSEX指数	-8.9%
ロシア RTS指数	-1.4%	中国 H株指数	-9.6%

【11月のBRICs各国の株式市場と主要投資対象先ファンドの投資戦略】

11月のBRICs諸国の株式市場は、全面安となりました。欧州債務危機の深刻化、中国の「ハードランディング懸念」の再燃などから投資家のリスク回避志向が拡大し、新興国の株式市場を押し下げました。

新興国株式市場は、今後短期的には欧州債務危機の動向に影響され、変動の激しい状況が続くと予想されます。11月最終週に上昇が見られましたが、これは日米欧6中央銀行による民間銀行への米ドル資金供給策の合意、米国の好調な経済指標などを受けたものでした。今後の市場の展開は、欧州各国による効果的な債務危機対応が実行に移されるか否か、また米国及び中国の景気が底堅い動きとなるか否かにかかっています。バリュエーション面では依然大きな魅力があり、新興国株式の純資産倍率(PBR)はわずか1.5倍です。個別銘柄のPBRからの割安度と収益力(自己資本利益率(ROE))を重視した運用を行っている当ファンドは、高いパフォーマンスを実現できると考えています。

【各国株式市場及び主要投資対象ファンドであるHSBC GIF BRIC ファンドの運用状況】

国別の配分比率は以下のようにしました(いずれも10月末→11月末)。バリュエーション面から魅力がさらに高まったと考えられることから、ロシア、中国の比率を引き上げました。

ロシア30.5%→32.5%、中国29.0%→29.3%、ブラジル21.5%→20.6%、インド18.2%→16.6%
(キャッシュ0.8%→0.9%)

【ブラジル株式市場】

ブラジル株式市場は軟調な動きでした。欧州債務危機の深刻化に加え、国内では、景気の減速傾向を示す指標がマイナス要因となりました。中銀の発表する経済活動指数(国内総生産(GDP)成長率の目安)は、前年同月比で8月の+2.93%から9月は約2年ぶりの低水準である+1.17%となりました。また鉱工業生産指数は、前月比で8月の-0.1%から9月は-2.0%、前年同月比では+2.0%から-1.6%となりました。しかし、これらの軟調な指標は、拡大消費者物価指数が前年同月比で9月の+7.31%から10月は+6.97%へと低下したことと相まって、追加利下げ期待につながり、株式市場への悪影響は限定的でした(中銀は30日に政策金利を0.5%引き下げ11.0%としました)。一方、米大手格付会社スタンダード・アンド・プアーズがブラジルの自国通貨建長期格付を「BBB+」から「A-」へ、外貨建長期格付を「BBB-」から「BBB」へ引き上げたことは株式市場の下支え要因となりました。

【ロシア株式市場】

ロシア株式市場は下落しました。経済的関係の深い欧州での債務危機の深刻化が最大のマイナス要因でした。一方、原油価格が堅調な推移となったことは、ロシア株式市場の下支え要因となりました。国内経済は良好で、7-9月期実質国内総生産(GDP)成長率(速報値)は4-6月期の前年同期比+3.4%から同+4.8%へと加速し、2010年4-6月期以来の高成長となりました。財政状況は良好で、財政黒字額(年初から10月末までの累計)は1.4兆ルーブル(約454億米ドル)となり、本年の財政収支が3年振りに黒字になることがほぼ確実となってきました。

また長年の懸案であるWTO加盟に向けて大きく前進しました。ロシアのWTO加盟に唯一反対していたグルジアの合意により、順調に行けば、2012年前半に加盟が実現することになります。WTO加盟は、貿易の拡大と多様化を通じロシアに大きな利益をもたらすものと考えます。世界銀行は、WTO加盟は同国の国内総生産(GDP)規模を中期的に3.3%、長期的に約11%拡大させると試算しています。

【インド株式市場】

インド株式市場は大幅安でした。欧州債務危機の深刻化に加え、国内では、景気鈍化の鮮明化、主要企業の軟調な決算などがマイナス材料となりました。経済指標では、9月の輸出伸び率が前年同月比+36.4%と、8月の同+44.3%から、9月の鉱工業生産指数伸び率が前年同月比+1.9%と、8月の同+3.6%から、それぞれ鈍化しました。また10月の国内新車販売台数は、乗用車が前年同月比-23.8%の約14万台と、過去10年間で最大の下落率となり、好調を維持してきた二輪も同-2.0%の約115万台となりました。個別企業では、乗用車最大手のマルチ・スズキ、鉄鋼大手タタ・スチール、アルミ大手ヒンダルコ・インダストリーズ、トラクター大手マヒンドラ&マヒンドラなどが軟調な7-9月期の決算を発表し、下落しました。最大手インドステイト銀行は、順調な利益を計上したものの不良債権の増加が嫌気され、売られました。

【中国株式市場】

中国株式市場は下落しました。国内要因としては、景気の減速傾向を示す指標がマイナスに働きました。10月の経済指標では、物流購買連合会発表の中国製造業購買担当者指数(PMI)が50.4と2009年2月以来の低水準となりました。また小売売上高、鉱工業生産指数、輸出などの伸び率が、軒並み9月から鈍化し、市場の予想も下回りました。一方、インフレ圧力は低下しており、10月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比+5.5%と、5ヶ月ぶりに6%を割り込んだことから、政府の経済政策の「微調整」の余地が拡大したとの見方が広がり、株式市場の下支えとなりました(人民銀行は30日、預金準備率を0.5%引き下げ、金融緩和に踏み切りました。当社では、預金準備率は来年前半に、計1.5%引き下げられると予想しています)。

【HSBC マネープールファンド】

11月の短期国債の利回りは、3ヶ月物が0.1%程度で推移しました。このような環境のなか、同ファンドの運用においては、リスクを抑えながら、短期国債への投資を基本として引き続き安定的な運用成果を目指す方針です。

※ 将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

設定・運用:HSBC投信株式会社

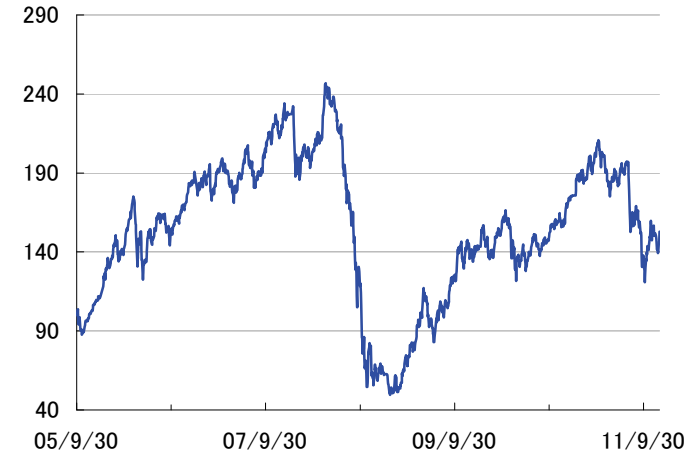
投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

<ご参考> 各国株価指数の推移 (2005年9月30日~2011年11月30日)

<ブラジル ボベスパ指数>



<ロシア RTS指数>



<インド SENSEX指数>



<中国 H株指数>



* 各国株価の推移グラフでは、ブルームバーグからの数値(RTS指数は米ドルベース、他は現地通貨ベース)を基に2005年9月30日を100として指数化しております。また、上記グラフにおける株価指数の動きはBRICs各国の株式市場の動向を示すために参考として掲げたものであり、BRICs4ヶ国における実際の株式運用によるファンドの基準価額の推移とは必ずしも一致しません。

出所:ブルームバーグ

設定・運用:HSBC投信株式会社

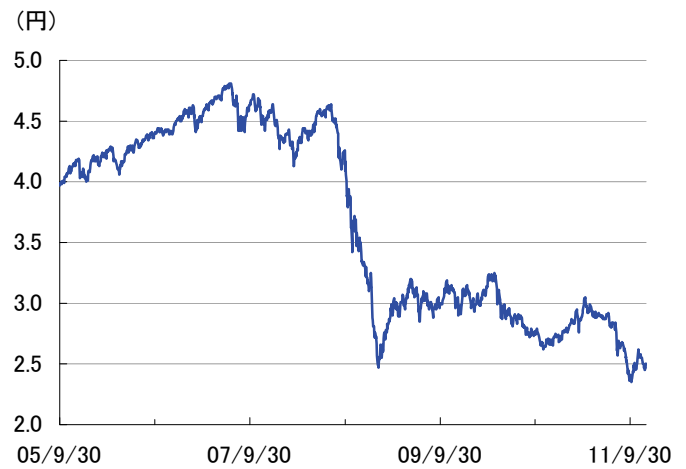
投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

<ご参考> 関連通貨の推移 (2005年9月30日~2011年11月30日)

<ブラジルレアル/円>



<ロシアルーブル/円>



<インドルピー/円>



<香港ドル/円>



<米ドル/円>



<中国人民元/円>



出所:投資信託協会


設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC BRICs オープン


追加型投信/海外/株式

当ファンドの特色


 BRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)諸国の株式等に投資します。

- ▶ 主として米ドル建てのルクセンブルグ籍証券投資法人「HSBC グローバル・インベストメント・ファンド BRIC Equity クラスJ」*への投資を通じて、BRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)諸国の株式等(ADR(米国預託証券)、GDR(グローバル預託証券)等を含みます。)に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
※略称は、「HSBC GIF BRIC ファンド」です。なお、ファンドの呼称が変更される場合があります。

新興国市場の有価証券は一般的に先進国の有価証券と比較して値動きが大きいため、基準価額の値動きも大きくなる傾向があります。

 「HSBC GIF BRIC ファンド」の運用は、HSBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドが行います。

- ▶ 「HSBC GIF BRIC ファンド」は、ベンチマークを定めていません。したがって業種別配分、個別銘柄の時価総額は銘柄選定時に考慮せず、最も効率的と判断する銘柄に投資します。

 年1回決算を行い、分配を行う予定です。

- ▶ 年1回の決算時(毎年9月29日、休業日の場合は翌営業日)に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

為替レートの変動により基準価額は変動します。投資対象資産の通貨に対し円高になった場合、基準価額が下落する要因となります。

 ファンド・オブ・ファンズ形式で運用します。

- ▶ ファンド・オブ・ファンズとは、複数の投資信託(ファンズ)に投資する投資信託(ファンド)のことをいいます。
 - 「HSBC GIF BRIC ファンド」はファンド・オブ・ファンズ専用のファンドで、投資比率を高位に保つことを基本に運用を行います。
 - 「HSBC マネープールファンド(適格機関投資家専用)」(「マネープールファンド」といいます。)は、主としてわが国の国債を中心に、内外の公社債に投資します。
 - 投資対象ファンドは、委託会社の判断により、追加・変更することがあります。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なりリスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

当ファンドの主なリスク

投資信託は元本(元金)が保証されている金融商品ではありません。運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。当ファンドは、主に外国株式を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格の変動や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資するため、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、投資者の皆様様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

1 株価変動リスク

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は短期的または長期的に大きく下落することがあります。株式市場には株価の上昇と下落の波があり、これが繰り返される傾向にあります。現時点で価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。

2 信用リスク

株式および債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる可能性があります。債券等への投資を行う場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。

3 為替変動リスク

外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。

4 流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。

5 カントリーリスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引等に関する規制の変更や新たな規制が設けられた場合には、投資方針に沿った運用が困難になることがあります。

6 投資対象国における税制変更にかかるリスク

投資対象国によっては、非居住者の有価証券投資に対して金融取引税が課されたり、保有有価証券の売買益に対してキャピタル・ゲイン課税が適用されたりすることがあります。将来、こうした投資対象国の税制が変更された場合、当該関係法令が改正された場合等には、基準価額が影響を受ける可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ 当ファンドのお申込みに関しては、上記のリスクをご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身でなさいますようお願い申し上げます。

留意点

当資料はHSBC投信株式会社が作成した販売用資料(販売会社固有情報部分を除きます。当該情報の詳細については販売会社にお問い合わせください。)です。当資料は信頼に足ると判断する情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の記載内容等は作成時点のものであり今後変更されることがあります。またデータ等は過去の実績を示したものであり将来の成果を示唆するものではありません。投資信託はリスクを含む商品であり、主に値動きのある有価証券(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は組入有価証券の値動き、為替変動による影響を受けます。したがって元本が保証されるものではありません。投資信託の運用成果(損益)は全て投資者の皆様様に帰属します。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。お申込みに当たっては投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)を必ずお受け取りの上、内容をご確認いただきご自身でご判断ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社 HSBC投信株式会社	受託会社 住友信託銀行株式会社 (再信託受託会社:日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社)	販売会社※
当ファンドの委託会社として、信託財産の運用指図等を行います。	当ファンドの受託会社として、信託財産の保管、管理、計算、その他の付随業務等を行います。	当ファンドの販売会社として、募集・販売の取扱い、換金申込の受付、収益分配金の再投資に関する事務、収益分配金、換金代金および償還金の支払等を行います。

※販売会社固有情報(金融商品取引業者(登録番号)、加入協会等)については、当資料内「お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求をご覧ください。販売会社は、投資信託説明書(交付目論見書)の提供場所になります。

照会先

HSBC投信株式会社

電話番号 03-3548-5690

ホームページ

www.assetmanagement.hsbc.com/jp

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

お申込みに関する要項

お申込みメモ

購入単位	販売会社が個別に定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	購入代金は、販売会社が個別に定める期日までに、販売会社に支払うものとします。 *購入代金とは、購入金額(購入価額×購入口数)に購入時手数料(税込)を加えた金額です。
換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して8営業日目以降に販売会社でお支払いします。
申込締切時間	原則として午後3時までとします。
購入の申込期間	平成22年12月18日から平成23年12月19日まで(当該期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。)
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
購入・換金の申込受付の中止及び取消し	取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は購入・換金の申込受付の中止及び取消しを行う場合があります。
信託期間	無期限(信託設定日:平成17年9月30日)
繰上償還	ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には、信託を終了させる場合があります。
決算日	毎年9月29日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。分配金の受取方法により、分配金を受取る「一般コース」と分配金を再投資する「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。
信託金の限度額	5,000億円
公告	日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	決算時及び償還時に委託会社が作成し、販売会社を通じて知られたる受益者に交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。原則として、収益分配金、換金時及び償還時の差益に対して課税されます。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。
申込受付不可日	国内の営業日であっても、ブラジル、米国、イギリス、インド、香港の各証券取引所の休業日またはルクセンブルグの銀行休業日のいずれかに該当する場合には、購入及び換金の申込受付は行いません。
その他	基準価額(1万口当たり)は、翌日の日本経済新聞朝刊に「BRICs株」の略称で掲載されます。

当ファンドにかかる費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入時にご負担いただきます。 購入金額に3.675%(税抜3.5%)を上限として、販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対して、年1.365%(税抜年1.30%) 運用管理費用は、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。 (税抜年1.30%の内訳:委託会社0.50%、販売会社0.75%、受託会社0.05%) 投資対象とする投資信託証券:年0.6%程度(年0.042%~0.6%) 実質的な負担:年1.965%(税抜年1.90%)程度
その他費用・手数料	ファンドの保有期間中その都度ファンドから支払われます。 (1)有価証券売買委託手数料/外貨建資産の保管費用/借入金利息、融資枠設定に要する費用/信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用、受託会社が立替えた立替金利息等 (2)投資信託振替制度に係る手数料及び費用/法定書類の作成、印刷、交付及び届出に係る費用/当ファンドの受益者に対して行う公告に係る費用/法定書類の作成、印刷、交付に係る費用/監査報酬及び法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等((2)の項目については毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、純資産総額に対し上限年0.2%としてファンドより支払われます。) (3)その他に、投資先投資信託証券における売買委託手数料、監査報酬、カストディーフィー、登録・名義書換代行会社報酬等がかかります。 ※運用状況等により変動するため、事前に上限額等を表記できません。

※手数料等の費用総額については、投資者の皆様のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。

設定・運用:HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号 加入協会/(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なりスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

